

夏季企画展

# 旅する風景画



山下 充《港風景(長崎稲佐山)》1981年制作 油彩 F10号

2025

6/20  
(金)

9/6  
(土)

弊ギャラリーでは6月20日(金)から9月6日(土)まで、季節展示室と絵画展示室1、ホワイエにおいて、夏季企画展「旅する風景画」を開催いたします。

船の行き交う港町、新緑の木々で染まる山並み、歴史が息づく古都など、作品に描かれた風景は時代や地域性を色濃く反映するものも多く、そうした作品を鑑賞することは、かの地に訪れた画家たちと旅をしているようでもあります。本展では、山下充《港夕景(長崎稲佐山)》、甲斐仁代《新緑の池》、勝弘安《奥日光》など、油彩画、日本画、版画による作品11点をご紹介します。このうち5点は初公開となります。

また、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

※企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります

山下 充(やました・たかし)

1926~2016。静岡県志太郡(現、焼津市)生まれ。画家を志し小堀進に水彩画を学ぶ。その後、長崎県ゆかりの画家・野口彌太郎の知遇を得て、以後師事する。戦後、長崎に度々訪れ、1981年には「長崎を描く山下充展」を長崎市内で開催。後年は富士山を主題とした作品を手掛け、2002年からは郷里の静岡・日本平を拠点とした。賞歴:宮本三郎記念賞、川村賞(川村文化振興財団)など。

## 十八親和アートギャラリー

鑑賞 無料

[開館時間] 10:00~16:00(入館は15:30まで)

[休館日] 日・月・祝日、年末年始(12/30~1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館

